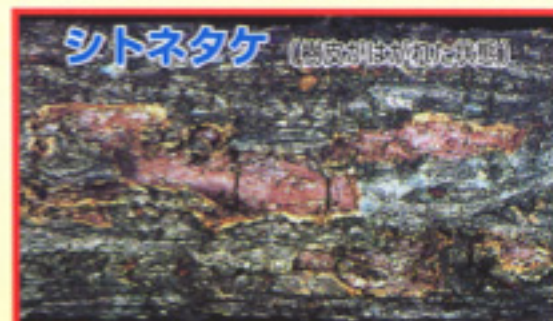
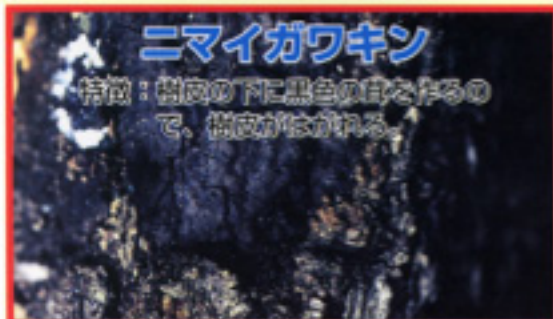
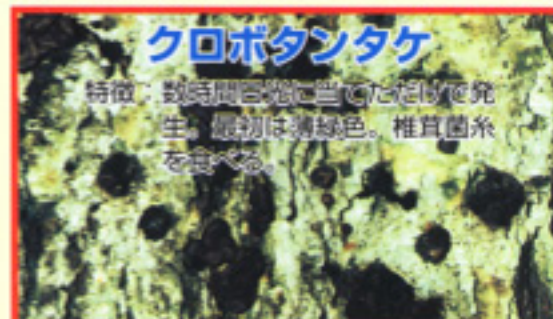
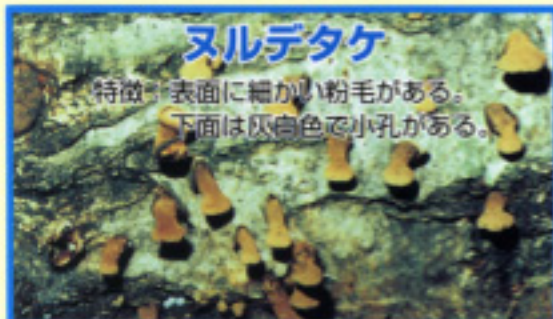


1. 直射日光が入っている (対策→

かさ木の追加・カンレイシャをかぶせる)



予防策：3月以降は原木を直接日光に
適期伐採を心がけ葉枯らし乾

当てない ホダおろしは曇天日に)
燥を充分行う

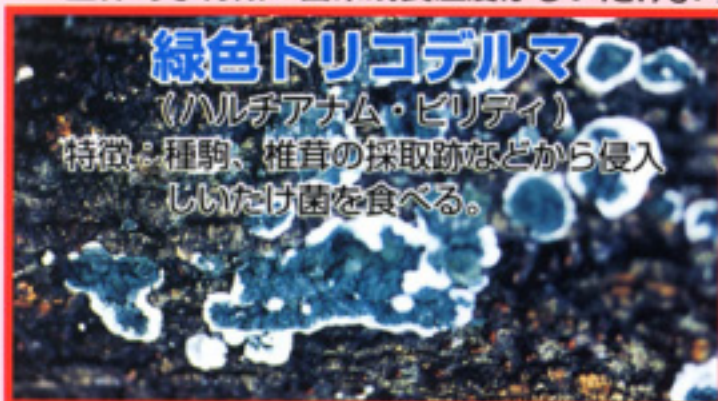
2. ホダ木が生木状態 【対策→通風・排水



予防策：適期伐採を心がけ葉枯らし乾

3. 高温＋多湿／通風不良(蒸れている)

全体的な特徴：菌糸成長温度がしいたけより



予防策：梅雨～夏季(5～9月)の下

を良くする(下草・雑木の刈り払い、ホダ木の組直)



燥を十分に行う。

【対策→通風・排水を良くする(下草の刈り払い等)も高い(25～32℃)



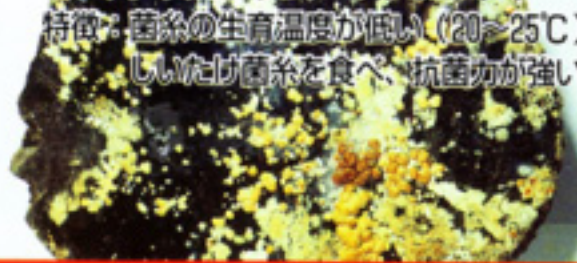
刈りを励行する。被陰を十分に行う。

4. 多湿【対策→通風・排水を良くする(下草・雑木の刈り払い、ホダ木の組直し)、発生ホダは除去】

白色トリコデルマ

(ポリスポラム・ラクテリア)

特徴：菌糸の生育温度が低い(20~25℃)
しいたけ菌糸を食べ、抗菌力が強い。



シイタケ

5. 主な害虫

ハラアカコブカミキリ

生態：春先(3月下旬~4月)から成虫が活動を始め、梅雨前(5~6月)に産卵。幼虫が樹皮下を食害する。(被害激甚)



対策：防虫ネット(3月末~7月)。成虫まわった部分は食害しないため。

幼虫は8月頃から羽化し各種の樹皮を食べて生活、冬は落葉の下などで成虫のまま越冬する。寿命は普通1年。



捕殺。早期植菌及び多穴植菌(菌糸の産卵されたホダ木は移動させない。

ナガゴマフカミキリ

生態：春先(4~5月)に産卵(5~8月)



対策：防虫ネット(5月~8月)。成虫まわった部分は食害しないため)

5月)に羽化後、初割にかけて新年ホダ木にし、幼虫が材を食害する。幼虫のまま越冬。



捕殺。早期植菌及び多穴植菌(菌糸のま